

総合的な危機管理体制強化のため危機管理室の創設を求める請願

<請願要旨>

首都直下型地震が70%の確率であるといわれ、町田市もいろいろな対策を検討しておられると思います。しかしながら 非常時の危機管理体制は滅多に無いことから 各部局は平時の今すぐ必要な業務を優先しがちであります。本来 仕事は「現在の業務」と「将来の改善」をいつも一緒に行わなくてはなりません、それも簡単ではありません。まして想像の難しい非常時の仕事は意識していてもなかなか出来ないのが現状と思われま

す。一つの例として、最近、特別区の保健所からの連絡はFAXで行われていたとか、FAXを送る前に不必要な項目を消す作業があるため、必要な情報がしかるべきところに到達しないという報道もありました。

このような現状を改善すべく、市長に直属した危機管理室を設け、危機管理の経験のある人を危機管理監として雇い、町田市としての準備をすべきと思います。現場経験のある人をひとり採用し、非常時に何が問題であるかを知っている経験を活かし、平時にこそ準備することが重要と思われま

す。勿論 各部の協力なしにはできませんが、非常時を考慮した結果として、平常時の仕事の効率を上げることもできると思います。(例えば、保健所の例では一つのデータがあれば、PCのソフトを利用し、いろいろな報告書を準備し、平時でも非常時でも活用できます)

危機管理監には、「地域防災マネージャー」制度で、能力の証明された人を活用すれば最適と思われま

す。(約半額の特別交付金の補助があります) 非常時は 災害対策本部が 市長の下にできると思いますが、市長の指示により、その運営は危機管理監の仕事とし、各部署との人脈を活かし、平時の準備を活用して、有効な災害対策を実行できると思います。42万人の命が関わっていますので、是非とも実現をしていただきたく、ここに請願致します。

この体制を東京都内では「豊島区」「品川区」「大田区」「渋谷区」が採用しております。

<請願項目>

危機管理室の創設を求める